

山形県小・中学校教育研究会 全報

第82号

編集・発行
山形県小学校教育研究会
山形県中学校教育研究会
両事務局
令和三・二・十二

中央印刷(株)
銅町一丁目 ☎631-5533

「何のために何を」～本質を考え、原点に立ち返り歩む～

山形県小学校教育研究会長 日 高 伸 哉

山形県中学校教育研究会長 高 橋 政 吉

新型コロナウイルス感染症対策のための全国一斉臨時休校措置が執られた、あの日（令和二年二月二十八日）から、まもなく一年が経とうとしております。アメリカやイギリスではワクチン接種が一部始まりましたが、世界の感染者数は九千万人を超え、死者数は二百万人に達しようとしています。日本国内での感染者は三十万人を超え、死者は四千人を超えています。未だ収束が見えず、新たに変異種も確認された第三波に翻弄されています。（令和三年一月中旬現在）

本年度は、例年と大きく異なるスタートとなりました。県小・中教育研究会理事も紙上開催とし、書面をもって議決いただきました。当初は、膝を付き合わせての会議や研修会もなかなか持てないまま時が過ぎ、焦燥感も募りましたが、まずもって、コロナ禍における各地区研究会の「歩みを止めない覚悟」と「地道で誠実な取組」に敬意を表する次第です。この難局において、「地道で誠実な取組」こそ価値あるものだと思います。

このコロナ禍は、学校の姿や教育研究会の姿、延いては教師の姿や生き方をも問うています。できない理由を探すのではなく、できる工夫を探し、牛歩の如く一歩ずつ着実に進みたい、そう思います。常に「何のために何を」を意識し、本質を考え、原点に立ち返り歩みたい、そう願います。その中で、「令和」の時代に相応しい私たちの「教育研究会」を模索して参りましょう。会員一人ひとりの健康と研鑽を願ってやみません。

令和二年度以降山形県小・中学校教育研究会の運営について

◎今年度、七月一日に開催を予定していた理事会（会場・県教育センター）を、新型コロナウイルス感染症防止対策により紙上開催とし、運営要綱改正会長等役員選考、理事会要項を理事により書面表決し、可決された。その過程は、以下のとおりである。

一 小学校及び中学校教育研究会運営要綱の改正について

（一）小学校教育研究会運営要綱に「外国語部会」を加えること。
（二）小学校会則第五条に定める研究会に「9外国語」を加えることを理事により書面表決し、五月二十七日に可決された。
（三）小学校及び中学校教育研究会要綱に書面表決等による決議に関する文言を加えること。

◎要綱(9)に「非常変災等のやむを得ない理由により、諸会議への招集ができない場合には、書面表決等により決議を行うことができる」という文言を加えることを理事により書面表決し、五月二十七日に可決された。

二 会長等役員選考及び理事会要項の決定について

（一）選考委員の委嘱及び会長等役員選考

◎小学校及び中学校の幹事長より、選考委員への委嘱を行い、選考委員長で会長等役員（案）が示された。その後、理事による書面表決が行われ、六月十二日に可決された。

（二）理事会要項の決定

◎小学校及び中学校会長名で、令和二年度理事会要項が示され、理事による書面表決の結果、七月一日に可決された。

三 書写部会の閉部について

◎書写部会長より、「令和三年度の活動をjもって書写部会を閉部することについて、書面にて提案された。その理由として、主に次の二点が挙げられた。

- ・組織自体がない・部員がいない地区が増加したこと。
- ・東北大会の参加・準備等の役割が大半を占め、大会開催の際は、国語科における書写教育の研究会となるため、国語科教員でない対応できない弊害があること。

◎提案内容について、理事による書面表決が行われ、七月一日に可決された。なお、今年度の決定を受け、東北書写部会の評議員会でその旨を報告し承認を得るとともに、令和三年度の東北書写大会（福島大会）には参加する方向と示された。

令和三年度 山形県小・中学校教育研究会理事会について

期 日 二〇二一年七月五日（月）十三時三十分
会 場 山形県教育センター・講堂

令和2年度 各部会の研究開催報告

●全国大会 ○東北大会 ○県大会 △協議会

No.	部会名	方法	実施月日	会 場	参加人数			研究テーマ	刊 行 物
					小	中	他		
1	国 語	◎	※中止					生きてはたらくことばの力をつける国語学習	研修用DVD
2	社 会	△	※中止					よりよい社会を形成していく力を育てる社会科学学習	県・社・研
3	算 数 数 学	△	地区ごと					創造性を育む算数・数学教育	会報
4	理 科	△	※紙上開催					【小】「自然に進んでかかわり、生きる力を育む理科教育」～自然を尊び、科学的な目で見つめ、未来をつくる理科教育～ 【中】科学的な資質や能力を育み、豊かな未来を創造する理科教育	会報179、180号
5	音 楽	△	地区ごと					「つなぎ合おう 人・思い・音楽」	地区ごとに発刊 県音連機関誌は休刊
6	図画工作 造 形	△	※来年度に順延					未来を創造する造形教育	
7	体 育	○	10.16	最上地区協議会 ※紙上発表				【小】生きる力を育む体育学習を求めて 【中】一人一人が主体的な学び「できる」「のびる」「かかわる」喜びを実感できる授業をめざして	会報46号
8	家 庭	△	地区ごと					豊かな心と実践力を育み、未来を拓く家庭科教育	研究のあゆみNo56 部会だより76号
9	技 術 家 庭	△	地区ごと					よりよい生活を創造し、社会を生き抜く力をはぐくむ授業づくり	研究のまとめ
10	外国語	△ ○	R3.2.10 11.10	山形大学附属小 河北町立河北中	23	28		【小】小学校外国語の授業における深い学びを実現するための「協働性」と「探究性」の在り方を考える(仮) 【中】自ら学び仲間と高め合う授業の創造	年度末に会報発行予定
11	道 徳	△	※中止					【小】いのちを輝かせ よりよい生き方を拓く道徳教育～他者と響き合い自己を見つめる道徳科の授業づくり～	
12	生 活 合	△ ○	※中止					【小】未定 【中】自己の生き方を問う主体的な学びの創造～郷土に誇りを持ち、豊かに生き抜く力を育てる総合的な学習～	会報
13	特 別 活 動	△	※中止					協働して未来をつくりだす子どもを育てる特別活動	研究集録
14	書 写	△	※中止					一人一人に生きてはたらく力を育む書写指導	書研(発行中止)
15	進 路 指 導	◎		※紙上発表				未来を拓く力を育てる～自分を見つめ、共に生きる力を育むキャリア教育をめざして～	「進路」(東北大会実践発表原稿含む)
16	メディア 教 育	△	10.21	オンライン講演会 主会場：山形市総合学習センター・霞城公民館	県内各地 62会場・ 計255名			主体的・対話的で深い学びにつなげるメディア教育	山形・上山地区協議会 Web実践発表
17	図 書 館 教 育	△	6.19	※書面協議				豊かな心をはぐくみ、深い学びを支える学校図書館の創造	学校図書館だより70号、 やまがた読書感想文57号
18	新 教 育	△	※中止					授業で使える新聞作り	
19	特 別 支 援 教 育	◎	※中止					共生社会の中で、これからの時代を豊かに生きる子どもの育成～一人一人の教育的ニーズに応じた授業の充実～	会報11号
20	へき地 小規模	△	6.9	※書面協議	20	7	2	ふるさとに夢や誇りをもって、未来の創り手となる子どもの育成	「かたくりの花」 68集をCDで配付
21	養 護	△	※中止					学校保健活動の推進と養護教諭の役割	「あしあと」51集
22	学 校 事 務	△	12.1～ 12.25	オンラインで Webセミナー 開催				未来を拓こう！子どもの育ちを支援する学校事務～連携・協働でつくる次世代の学校～	各地区の研究のまとめ 会報「事務Tea Time」 メールマガジン

令和3年度 各部会の研究開催予定

●全国大会 ○東北大会 ○県大会 △協議会

No.	部会名	方法	実施月日	会 場	参加人数			研究テーマ	刊 行 物
					小	中	他		
1	国 語	△	8月	置賜地区	30	30		生きてはたらくことばの力をつける国語学習	研修資料
2	社 会	○	11月	東根市小中学校	30	50		よりよい社会を形成していく力を育てる社会科学学習	県・社・研
3	算 数 数 学	△	地区ごと					創造性を育む算数・数学教育	会報
4	理 科	△	7月上旬	山形大学附属中	16	16		【小】「自然に進んでかかわり、生きる力を育む理科教育」～自然を尊び、科学的な目で見つめ、未来をつくる理科教育～ 【中】科学的な資質や能力を育み、豊かな未来を創造する理科教育	会報181、182号 研究集61集
5	音 楽	△	地区ごと					「つなぎ合おう 人・思い・音楽」	県音連機関誌 「カンタービレ」
6	図画工作 造 形	△	11.9	北村山地区内 (検討中)	60	50	30	未来を創造する造形教育	研究紀要
7	体 育	△	地区ごと					【小】生きる力を育む体育学習を求めて 【中】一人一人が主体的な学び「できる」「のびる」「かかわる」喜びを実感できる授業をめざして	会報47号
8	家 庭	△	地区ごと					豊かな心と実践力を育み、未来を拓く家庭科教育	研究のあゆみNo57 部会だより77号
9	技 術 家 庭	△	10月	最北地区		150		よりよい生活を創造し、社会を生き抜く力をはぐくむ授業づくり	研究のまとめ
10	外国語	◎	11.19～ 11.20	県総合文化芸術館・山形大学小 白川キャンパス	50	25		「Explore!未来を切り拓く英語教育の推進」 ～自ら学び仲間と高め合う授業の創造～	全英連山形大会研究要 項・研究紀要
11	道 徳	△	【小】東北 大会プレ 大会は中 止	山形市内(検討 中)				【小】いのちを輝かせ よりよい生き方を拓く 道徳教育～他者と響き合い自己を見つめ る道徳科の授業づくり～ 【中】未定	研修資料
12	生 活 合	○ △	11.26	【小】置賜 【中】酒田・飽海				【小】未定 【中】自己の生き方を問う主体的な学びの創造 ～郷土に誇りを持ち、豊かに生き抜く力 を育てる総合的な学習～	会報
13	特 活 動	△	未定	酒田市立富士見小	70	15	10	多様な他者との協働を通して、自己有用館を高める特別活動	研究集録
14	書 写	△	東北大会(福島)参加		10	5		日常生活に生かすことができる力を育む書写書道教室(仮)	会報「書研」
15	進 路 指 導	△	地区ごと					地区ごと	部会誌「進路」
16	メディア 教 育		10月	主サテライト会場を山形市に設置しオンライン講演・Web実践発表	120	60	20	主体的・対話的で深い学びにつなげるメディア教育	Web上での実践発表
17	図書館 教 育	△	地区ごと					豊かな心をはぐくみ、深い学びを支える学校図書館の創造	学校図書館だより71号、 やまがた読書感想文58号
18	新 聞 教 育	△	8.5	鶴岡市第3コミュニティセンター	10	5	10	授業に生かす新聞作り	
19	特 別 支 援 教 育	△	【知・情】 8月 【言】 8月	【知】【情】最北 【言】庄内	【知・情】 小・中・他300 【言】 小・他70			【知】一人一人の個性を伸ばし、生きる力を育てる支援のあり方 【情】人とかかわる力を育む指導のあり方はどうあればよいか 【言】子どもをみつめ、ことばと心を育むための指導はどうあればよいか	会報12号 部会ごとの研究集録
20	へき地 小規模	△	6.8	山形県教育センター	20	6	2	ふるさとに夢や誇りをもって、未来の創り手となる子どもの育成	「かたくりの花」 69集をCDで配付
21	養 護	△	8月	県養護教諭連絡協議会HP上で、オンライン開催	200	90	70	学校保健活動の推進と養護教諭の役割	「あしあと」52集
22	学 事 校 務	△	①7.30(夏季研修会)・山形ビッグウイング ②11.26(秋季セミナー)・新庄市民プラザ ③9～11月(地区ブロック研究会)・各地区		①小中他 350名 ②小中他 150名 ③小中他 60～120名			築き上げよう！子どもの育ちを豊かにする山形県の学校事務～教育行政の専門職として、山形っ子の幸せのために～(予定)	各地区の研究のまとめ 会報「事務Tea Time」 メールマガジン

〈参考〉

令和3年度以降研究大会長期計画

- ①*は東北・全国大会の研究団体に加盟している部会
 ②(●全国大会・東北大会・県大会 ○東北大会・県大会 ○県大会 △地区協議会)
 ③[地区名]は、研究大会補助費の配分対象
 ④地区名については、各部会による
 ⑤令和8年度(2026年度)については、現時点での見込み(又は調整中)

No.	部会名	年度 開催 地区	令和3年度 2021年度		令和4年度 2022年度		令和5年度 2023年度		令和6年度 2024年度		令和7年度 2025年度		令和8年度 2026年度	
			会	地区	会	地区	会	地区	会	地区	会	地区	会	地区
1	*国語	小中	△	置賜	△	村山	△	村山	△	山形	△	庄内	◎	庄内
2	*社会	小中	○	最北 [北村山]	△	米沢	△	東置賜	○	西置賜	△	村山	△	村山
3	*算数・数学	小中	△	各地区	◎	東村山・上山	△	各地区	△	各地区	△	各地区	△	各地区
4	*理科	小中	△	各地区	△	各地区	◎	置賜	△	各地区	△	各地区	△	各地区
5	*音楽	小中	△	各地区	△	各地区	○	村山	◎	村山	△	各地区		
6	*図画工作・造形	小中	△	北村山	△	田川	△	西置賜	◎	山形・上山	△	最上	△	酒田・飽海
7	*体育	小中	△	山形	△	山形	●	山形	△	未定	△	未定	△	
8	*家庭	小	△	各地区	△	庄内	◎	庄内	△	各地区	△	各地区		
9	*技術・家庭	中	△	最北	△	各地区	△	各地区	●	村山	△	各地区		
10	*外国語	小中	◎	山形	△	長井・西置賜	△	鶴岡・田川	△	北村山	△	新庄・最上	○	米沢・置賜
11	*道徳	小中	△	山形	◎	山形	△	庄内	△	庄内	△	庄内		
12	*生活・総合	小中	○	置賜 酒田・飽海	△	酒田・飽海 酒田・飽海	◎	酒田・飽海	△	最北 置賜	○	最北 米沢・置賜	△	米沢・置賜
13	*特別活動	小中	△	酒田・飽海	○	酒田・飽海	◎	酒田・飽海	△	米沢 東置賜	△	米沢 東置賜	△	長井 西置賜
14	*書写	小中	△	山形	※令和4年度以降、書写部会は閉部(令和2年度理事会にて承認)									
15	*進路指導	中			△	庄内			△	置賜			△	最上(紙上)
16	*メディア教育	小中	△	村山	△	飽海	△	飽海	◎	飽海	△	北村山	△	北村山
17	*図書館教育	小中	△	各地区	△	各地区	△	各地区	△	各地区	○	置賜	△	各地区
18	新聞教育	小中	△	鶴岡・田川	△	酒田・飽海	△	新庄・最上	△	鶴岡・田川	△	酒田・飽海	△	新庄・最上
19	*特別支援教育	小中	△	[知・情]最北 [言]庄内	△	[知・情]庄内 [言]置賜	△	[知・情]置賜 [言]最北	△	[知・情]村山 [言]西村山	◎	[知・情・言] 庄内	△	[知・情]最北 [言]東南村山
20	*へき地・小規模	小中	△	各地区	●	山形・各地	△	各地区	△	各地区	△	各地区	△	各地区
21	*養護	小中	△	庄内	△	置賜	△	最北	△	庄内	△	村山	△	置賜
22	*学校事務	小中	△		○	山形	△		△		△		△	

研究大会補助費配分部会数

●全国大会	小1・中1	小1・中2		中1		
◎東北大会		小2・中1	小4・中4	小2・中2	小1・中1	小1・中1
○県大会	小2・中1	小1・中1			小1・中1	
合計	小3・中2	小4・中4	小4・中4	小2・中3	小2・中2	小1・中1